

「避難時の地域の役割・行動」に関する意見

認識された問題や課題

★避難場所に関すること

- 避難場所の収容人数がわからない。そもそも、避難場所の収容人数は決められているのだろうか。
- そもそも、避難場所は足りているのか。
- 避難所に入らず、たらいまわしにされる人も出てくるのではないか。
- 学校（避難場所）との連携ができていない地域もある。

★避難所の運営に関すること

- 大勢の避難者が集まり混乱する。
- 避難所には顔見知りばかりが集まるとは限らない。見知らぬ者同士で譲り合ったり、ちゃんとしたコミュニケーションがとれるだろうか。
- ルールが守られなかったり無秩序になる恐れもある。
- 避難生活のことは、行政がすべて対応してくれると思っていて危機感がない人もいる。

★物資や設備に関すること

- 避難場所には水、食料が十分でない。
- ミルク、おむつ、生理用品など特別な物資がない。
- 家から物資を持っでは避難できない。
- 寒さ（暑さ）対策がなされていない。
- 薬や応急手当用の用具がない避難生活中に体調不良になったらどうしたらよいか。
 - ・ 救急車はすぐにはこないだろう
 - ・ 地域の病院や診療所はやっているだろうか

★避難に関すること

- 避難場所への避難は、いつ、どういうタイミングで行えばいいのか。
- 自主的に避難した時、避難場所に避難していいのか。
- 避難場所への避難指示は、すべての住民に伝わるか。どのように伝わっていくか。
- 被害が大きいとき、ちゃんと避難場所に辿りつけるか。

基本的な考え方

◆ 地域での人づくり・関係づくり

- 避難場所をまとめるリーダーの存在が重要。
- 日頃から顔も見える関係を築いておくことが肝心。
- 町内にいる人材（技能、得意分野）について把握しておくこと、いざというときに有益。
- 改めて、地域の人間関係づくりに役立つ町内会の意義について理解を深めていくことも大切。

◆ 避難場所・備えの自主的な確保

- 食糧や着替えなどは各自で用意しておくという意識付けが重要。
- 地域自らで備蓄していくという考え方も必要。
- スーパーやコンビニその他の事業者との関係づくりも必要。
- 夏・冬の季節に適合した避難場所を把握しておくことが必要。
- 指定場所以外にも、地域独自で避難場所を確保してい

取り組むべき事柄

※ 太字は、地域で自主的に取り組める事柄

●地域での人づくり・関係づくりに関すること

- ◆ **地域リーダーの育成**
 - ・ **災害時にリーダーとなる人（複数、女性も必要）を決めておく。**
 - ・ 地域リーダーに対する避難所運営のノウハウや心構えなどの研修・訓練の実施。
 - ・ 定期的に行政と地域リーダー、地域リーダー相互の情報共有・勉強会の機会を持つ。
- ◆ **災害時に対応できるような組織づくり**
 - ・ **町内の人材を把握しておく。（技能、得意分野など）**
 - ・ **あらかじめ非常時の体制や役割を定めておく。**
 - ・ **行政・連合町内会・単位町内会の緊急連絡系統図の作成。**
- ◆ **良好な地域関係の形成**
 - ・ **住民に町内会活動への理解を深めてもらう。（町内会加入率向上）**
 - ・ **単位町内会間の交流の活発化。**

●避難場所・備えの自主的な確保に関すること

- ◆ **非常時の物資の確保**
 - ・ **各家庭で最低限の物資を用意するよう啓発の実施。**
 - ・ **地域独自の備蓄を検討する。**
 - ・ **避難所生活やそこで必要な日用品についてイメージできる小冊子を作成し、周知・啓発をする。**
 - ・ **地域のスーパーやコンビニと、いざというときに支援してもらえよう連携をとる。**
- ◆ **防災に関する研修等備えの充実と工夫**
 - ・ **季節に応じた防災訓練を実施する。**
 - ・ **避難場所です実践的に訓練や研修を実施する。**
 - ・ **どのような訓練も繰り返し行い、経験を重ねる。**
 - ・ **避難場所となる学校との連携を普段からとっておく。**
- ◆ **防災マップの充実**
 - ・ **避難場所を中心とした、より広範囲のマップを作成。**
 - ・ **福祉マップと一体化した防災マップを作成。**
 - ・ **防災マップ作成費用の負担軽減。**
- ◆ **避難場所の周知**
 - ・ **市がしっかりと指定し、広く周知しておく。**
- ◆ **避難所の確保**
 - ・ **あらかじめ、地域単位で避難する場所をいくつか決定し周知。**
 - ・ **ビルやマンションなど、指定避難場所以外で避難場所となり得る建物等と協定の締結を図る。**